

# 木馬会会報（第114号）

## \* オークス特集 \*



99/05/28

### ～木馬達の予想～

本誌 トウインクルダンディ

◎プリモディーネ ○スティンガー ▲ゴッドインチーフ

△フサイチエアデール、トウザヴィクトリー、クロックワーク、フレンドリーエース  
桜花賞馬の力を信じて本命はプリモディーネ。距離に不安材料をもたれているが、そういう実力馬がしっかり連に絡んでいるのも事実。3年前の田原とファイトガリバー（届かず2着ではあったが）が思い出される。相手は復活なった藤沢厩舎の実力馬スティンガー。基本的にこの2頭の力が抜けているとみて、馬券としてはこの1点で勝負と思っている。

### ～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎…トウザヴィクトリー、○…クロックワーク

▲…スティンガー、△…サクラセレブレイト、ゴッドインチーフ、プリモディーネ  
ここ2週は調子がいい。といっても土曜日の話でGⅠは当たらない。まあ、それもNHKマイルと高松宮記念の谷間のGⅠでは仕方がないということに。今週、来週はオークス、ダービーで俄然気合に入る。あまり入れ込まないように、と。

本命はトウザヴィクトリー。一頓挫あり急仕上げのアネモネSは本調子になく度外視。桜花賞では直線一時先頭に立ったあと一押し足りず。まだ体調が戻りきってなかったのだろう。そしてオークス。もう言い訳がきかない状況だが鞍上は武豊。フサイチエアデールを捨ててまでこっちに乗るということは勝てる判断したから。桜花賞路線の前は2000mを使ってたわけで距離延長がマイナスになるはずもない。むしろオークスを意識して使っていたフシもある。ここは素直に武を信じるほかない。

以下は、トライアル組から。相手にはゴール前の伸びがやけに目立ったクロックワーク。3着といつてもその前にいたのがスティンガー、フサイチであり、しかも差はわずかなのだからなんの問題もない。トライアル好走で本番潰れるといったありがちなタイプではないレースぶりだったように思う。

3番手にはスティンガー。桜花賞は惨敗した。連闘＆長距離輸送で阪神3才牝馬Sを勝った常識外れな馬でも休み明けには勝てなかった。1度叩かれ、着差は僅かながらもフサイチを抜かせなった勝負根性はやはり並外れた馬。といっても、姉サイレントハピネスがGⅡクラスで止まったことを思えば、GⅠを勝ち切るまではいかないのかも。

以下、サクラセレブレイト、ゴッドインチーフ、プリモディーネまで。

### ～鈍才！洋二郎の無い知恵絞り～

競馬を始めて11年目に突入しましたが、オークスにはよい思い出はありません。まあ、今年も見事に外すんだろうなあと想像しつつも、やっぱり外しそうな馬を本命！◎エイシンワンシャン前走は、個人的には「しぶといねえ」といった印象。あれなら、2400mのオークスでも、しつこく伸びてくれるので。タイム的にもトライアル組みにそれ程見劣っていません。今までの負け分を一気に取り戻す

ホームランを期待します。○には、クロックワーク。こいつは人気になるんでしょうね。でもキャリア2戦で前走の頑張りはなかなか真似できないでしょう。人気になってぶっ飛ぶ典型とも思えますが、未知の魅力に一票。▲にフレンドリーエース。マサラッキがGⅠを取る時代ですし（でも確かに中京の1200mは強い）、こんな馬がGⅠ馬になるのも許します。◎と来たら、結構つくだろうなあ。カーナビ購入馬券として資金を注入します。

◎エイシンワンシャン ○クロックワーク ▲フレンドリーエース

△プリモディーネ、コウヨウヒロイン、トウザヴィクトリー、スターバイオレット

### 栄蔵の一番弟子 TP

#### ～TPの屁理屈～

桜花賞の時も書いたが、今年の4歳牝馬は上下の差が激しい。オークスTRで桜花賞組が1,2着だったし、毎年、実質500万下特別であるスイートピーS組はとても桜花賞組とは勝負にならない。桜花賞での力関係は、1ヶ月半の間に変わることはないだろう。

桜花賞時点で好勝負する可能性があると考えていた馬のうち今回消えるのは、結局底力が足りなく、血統的にも距離伸びていいタイプではないUファイバー、同じく距離延長と逃げ脚質が減点で、底を見せたS産駒、Eルーデンス。逆に新たに取り上げるのは距離伸びて良いクロックワークだけ。

残った馬のうち、連穴にしか推せないのは結局GⅠでは足りなく、距離伸びるのも良くないと思われるGチーフ。前走馬体減、体型もマイラーのFエアデール。結局Tヴィクトリー、スティンガー、プリモディーネが抜けていると考える。ヴィクトリーはあんなめちゃくちゃなローテで、よく桜花賞3着に来たものだ。やはり能力が高いのだろう。先行脚質が気になるが、2000を2戦しているし、血統的には距離伸びて問題ない。武が乗ってくれるのも心強い。先行脚質、スタミナ型のレースっぷりとショウカイキャラルっぽい雰囲気が漂う。スティンガーは前走懸命に走りすぎの感があるし、以前の強さを感じなかつた。反動が心配だし、どうも姉サイレントハピネスの早熟性が引っかかり、ポカの可能性もあるような気もする。プリモディーネは血統がとやかく言われるが、桜花賞から1ヶ月半後のオークスでは能力優先である。牝馬のこの時期は能力で距離は克服できる。同じアフリート産駒のGジャックが2着になっているし、たいした問題はないだろう。

2頭軸で前に行くヴィクトリーと追い込むプリモディーネ。この2頭は中間の状態も絶好。相手筆頭にスティンガー。連穴にはエアデールとクロックワークとしておこう。あとゴッドが気になるが、印上はそこまでまわせない。とにかくこの6頭で決まる可能性は90%。特に上位3頭で射止めたいものだ。

◎…トウザヴィクトリー、プリモディーネ

○…スティンガー △…フサイチエアデール、クロックワーク

日曜日はとても良い天気で、バーベキューをした。予想外に帰りが遅くなってしまった東京のメインと高松宮を買えなかったが、結果オーライ。買わないでよかった。まだまだついてるぞ。現在の回収率103.1%

## メニーフレンズ

木馬会の「本命志向」という悪しき風潮にすっかり染まってしまった私は、先週の高松宮杯も本来、本命にすべきマサラッキを◎から○にしてしまったため、外してしまった。いつからこんな堕落した人間になってしまったのだろう。「思い起こせ！万馬券連発の日々！」と悶々としているところに、ついにオースを迎えるました。

本来だと、好きなスティンガーかプリモディーネを本命にすべきでせう。（前者は、昨年の阪神3歳Sで万馬券をもたらしていただき、後者は私のマンション名ですからね）。でも、今年のレベルからいってTR勝ちや桜花賞が連覇できるのかなあ。そこで、本命は自在性のありそうなウメノファイバー。本当は800万組が恐いんだけど。

◎ウメノファイバー ○スティンガー ▲フサイチエアデール

△クロックワーク、ゴッドインチーフ、トウザヴィクトリー、フレンドリーエース

## ～F E L A～

今回は2軸で勝負！フサイチエアデールじゃこの馬には勝てない、勝つにはこの馬しかいない、と武にトウザヴィクトリーを選びさせたスティンガーがやはり恐い。前走の勝っぷりもさすがである。気性的に難しいところはあるかもしれないが軸からは絶対に外せない。もう1頭は、やはり武が本気で惚れ込んだトウザヴィクトリー。桜花賞でも武が乗っていれば2着には食い込んでいたはずの実力馬。調教も良さそうだし、武の気合に期待したい。残りは、新聞等でかなり騒がれているクロックワーク、もしかすると距離克服のプリモディーネ、一発駆けでコウヨウヒロイン、の3頭を押えて勝負！今回は自信あるよー。

◎スティンガー、トウザヴィクトリー

△クロックワーク、プリモディーネ、コウヨウヒロイン

## へなりん

◎はやっと本来の状態・騎手に戻ったトウザヴィクトリー。桜花賞TRの前の熱発さえなければ軽々と女王の座についていた馬である。（ほんと凄い馬なのよ。デビュー前から池江調教師も豊君も言ってたし。）1週前追い切りでも古馬OPのザフォリアを軽くあしらうのだから恐れ入る。（もちろん相手は本追い切りよ。）今回は何があっても負けるわけがないし、私にとっても負けてもらっては困る。（何があっても・・・と言ったけど、そういう海外でレース中に酔っぱらいがコースに乱入して1番人気馬に触るというアクシデントがあったらしい。その馬絡みの馬券は払い戻しになったみたいですが。）

相手は迷うが、中6週の東京は走るウメノファイバーが筆頭かな。この馬は輸送は苦手みたいなので桜花賞は度外視していいと思う。狙って面白いのはエイシンワンシャンとコウヨウヒロイン。前者はトニービンにエイシンテネシーという良血で大一番に強そう。前走の勝っぷりも良かった。後者は主戦の武藤に代えて善臣を起用してきた。左回りは走るし忘れた草・4牝特と連続4着なのに地味すぎて人気はなく妙味たっぷり。（ちなみに前走の上がりはスティンガー・クロックワークと同じ。）スティンガーを相手筆頭にとも考えたけど、スタンド前発走の東京2400（しかもG1！）では精神的に難のあるこの馬には厳しいかな。距離不安と言われているプリモディーネだが、絶対能力の違いで克服するだろう。怖いぜ。というわけで

◎・・・トウザヴィクトリー、○・・・ウメノファイバー

△・・・エイシンワンシャン、コウヨウヒロイン、プリモディーネ、

## クロックワーク、フサイチエアデール、スティンガー

追加：先日の関東オークスを圧勝した5戦5勝のヤマノリアルが東京ダービーに向かうらしい。こりゃ楽しみだ。オリオンザサンクスの巻き返しは果たして？？？（出るんだよね？）

## 予想はウソヨ 四国の井崎

今年の春のG1のテーマはどうも本当にバビューベボのようだ。NHKマイルでもレッドチリペッパーが3着しているし、先週もパールが2着。パ行馬が必ず3着までに入っている（フェラリーコースは無視）。オークスでの該当馬はプリモディーネとピサノガレーしかいない。プリモディーネの複勝馬券が堅いかな。

さて前置きはこのくらいにして、900万クラスを基準のタイム評価を掲載します。今年は本当にレベルが高い。感心します。しかしスピードだけで府中2400mを制覇するのは困難です。

	3走前	2走前	前走	
フサイチエアデール	+0.0	+0.3	+0.2	A
プリモディーネ	-0.6	-0.5	+0.5	B上昇
スティンガー	+0.0	-1.0	+0.2	C
トウザヴィクトリー	+0.0	-1.1	+0.1	D
ゴッドインチーフ	+0.2	-0.4	-0.1	
コウヨウヒロイン	+0.3	-2.5	+0.0	
エイシンルーデンス	-0.1	-0.8	+0.0	
クロックワーク	-6.0d	-0.5	+0.1	上昇
参考 500万クラス (50音順)				
ウメノファイバー	-1.9	-1.1	-0.3	
エイシンワンシャン	-4.0	-2.4	-0.4	上昇
ステファニーチャン	-0.5	-2.1	-0.9	
ピサノガレー	-1.0	-1.4d	-0.1	
フレンドリーエース	-0.8	-1.8	-0.5	
リワードハミング	-1.2	-1.6	-0.4	

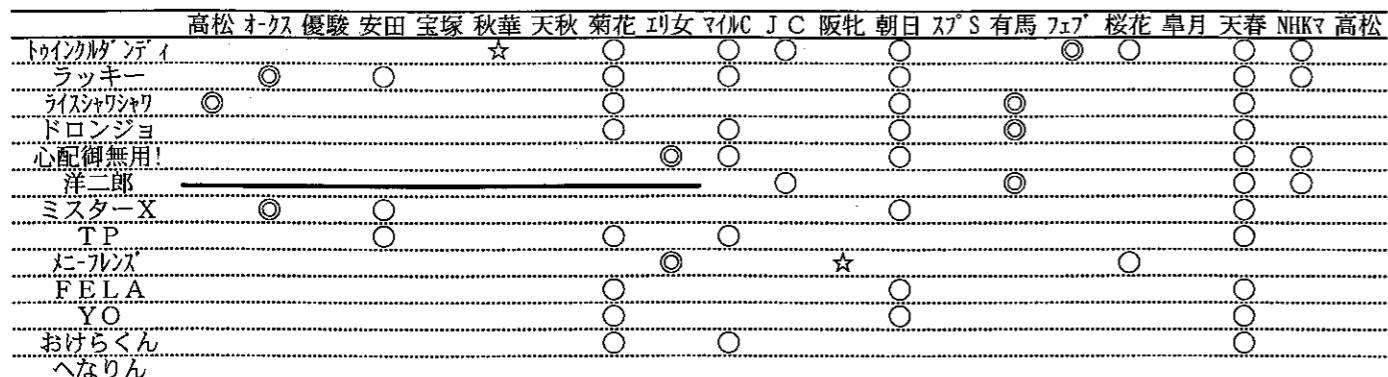
900万クラス以上を掲示しているのは上位8頭。6位のコウヨウヒロインまでは900万クラス時計を2度も掲示しております優秀です。来週のダービーと比べてみて下さい。ま、牡馬もこのところやっと成長をみせて来ておりますが…。タイムは参考と言いながらも、やはり勝ち馬はこの8頭に絞られるでしょう。昨年も全く同じように書いてエリモエクセルが抜けてしまったので500万クラスまで載せました。ローテーションからは桜花賞直行組が有利です。

安定性からフサイチをAとしたが最大値に注目すればプリモディーネがAとなります。しかし上位は全く互角と言えるでしょう。そうなると距離適性そして騎手が重要なファクターとなります。初めての長距離ではいかに折り合いをつけるか。正面スタンド前という異様な雰囲気での発走はデリケートな牝馬には大変です。幸い上位組は騎手はいい。でもなんといっても武豊でしょう。先週、今週と調教は抜群の出来。2000m経験の強みもあり本命はコレ。

◎トウザヴィクトリー

第60回 オークス

		18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
		カシノリファール	フレンドリーエース	ウメノファイバー	エフティービルサド	ワンダーガール	ピサノガレー	サクラセレブレイト	エイシンルーデンス	エイシンワンシャン	リワードハミング	コウヨウヒロイン	フサイチエアデール	トウザヴィクトリー	スターバイオレット	プリモディーネ	クロックワーク	ステインガー	ゴッドインチーフ	馬名
	的場	柴田未	蛇名	松永幹	加藤	佐藤哲	武幸	野元	中館	後藤	柴田善	四位	武豊	幸	藤田	横山典	岡部	河内	騎手	
	△										△	△		○	△	○	○	▲	トウイクルディ	
		△									▲	○		△	△	○	△	△	△	ラッキー
			△								○		△	○	△	○	▲	△	△	ライシャリヤ
				△							△	△		△		△	○	○	△	ドロンジョ
		▲									△	○		△	△	○	○	△	△	心配御無用!
		▲									○	△		△	△	△	○		○	洋二郎
			△								△	○		△	△	△	○	▲	○	ミスターX
											△	○		○	△	○	○	○	△	TP
		△	○								▲	△		△	○	△	○	△	△	ゼーブンズ
		○									△	△		△	△	○	△	△	○	FELA
		△	△		△						△	△		△	△	△	△	○	○	YO
		○									△	△		△	△	△	○	○	△	おかげらくん
											△	△		△	△	△	△	○	△	へなりん



○…~20倍 ◎…20~50倍 ☆…50倍~

次号はダービー号です。